

令和4年度 盛岡聴覚支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「チーム盛聴」：目配り、気配り、細やかな連携で着実な推進～

盛岡聴覚支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

- (1)子どもたちや保護者との対話を大切にしており、良好な職場の雰囲気といえる。
- (2)各学部間、各校務部・寄宿舍間の、一層の連携が求められる。
- (3)目標・期日を見据えた、より計画的な業務の推進が求められる。
- (4)長時間勤務の職員は固定化されており、質・量両面の業務の見直しが求められる。

2 目指す姿

- (1)教職員一人一人が、やりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- (2)教職員が互いに情報交換を密にし、連携しあいながら業務にあたっている。
- (3)教職員が明確な目標設定のもと、充実感を持って業務を推進している。
- (4)業務の偏在・停滞が認められる際には、協力し分担しあってチームとして解決する。

3 取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・時間外在校等勤務時間や業務量等の物理的な負担の軽減に取り組みます。
- ・精神的な負担感の軽減対応のためにも「勤務状況確認シート」に係る面談の他にも、随時の面談を実施します。
- ・本人からの相談はもちろん、同僚が抱える困り感等についても相談しやすい職場環境を作ります。
- ・毎週金曜日を定時退庁日に設定し実施します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・会議のスリム化を図ります。(実施回数・時間短縮・簡潔な資料・会議終了時間の明記)
- ・日頃から気軽に相談しあえる雰囲気づくりを心がけ、お互いを尊重し支えあいながら、職員一人一人が充実感を味わえる職場づくりを推進します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・関係機関との連携協力のもと、教職員が子どもたちの教育活動に専念できる職場づくりを目指します。
- ・地域の文化資源を活用し、より効率的に子どもたちが広く、深く、様々な体験経験を積むことができるように工夫します。
- ・朝会時、全員が手話表現をしながら挨拶を交わし、職員全体で意欲的に聴覚支援教育に取り組む姿勢を確認しあって毎日の業務に取り組みます。

4 目標

- ・職員の毎月の時間外在校等時間の縮減を図る(一人あたり 50時間以下)。→100%
- ・勤務時間を超える会議→0回
- ・「盛聴フライデー(定時退庁日)」の実施→100%
- ・手話表現を交えた挨拶の励行→毎朝会時

令和4年5月27日 盛岡聴覚支援学校長 森山 学

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を**ゼロ**にする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり**段階的に縮減**する。

時間外 在校等時間	取組期間	
	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超		

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。